

第 79 期 決 算 公 告

2024年5月31日

神奈川県伊勢原市桜台三丁目17番1号
グンゼ高分子株式会社
代表取締役 古谷 賢一

貸 借 対 照 表

(2024年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	175,830,524	流動負債	156,880,206
現金及び預金	7,269,401	支払手形	33,387,259
製品	65,217,165	買掛金	53,286,188
仕掛品	5,412,629	短期借入金	23,749,550
原材料	77,533,137	未払金	447,920
貯蔵品	5,812,654	未払費用	23,347,538
前払費用	206,886	未払法人税等	290,000
未収入金	14,217,340	未払事業税	1,426,000
短期債権	161,312	未払消費税	5,636,500
		預り金	4,308,250
固定資産	707,600,380	賞与引当金	11,001,001
有形固定資産	670,438,474		
建物	112,004,757	固定負債	113,625,687
構築物	3,270,911	退職給付引当金	113,625,687
機械装置	106,001,744		
車輛運搬具	3,118,840		
工具器具備品	1,003,811	負債合計	270,505,893
土地	436,540,411	(純資産の部)	
建設仮勘定	8,498,000	株主資本	612,238,821
無形固定資産	1,499,166	資本金	300,000,000
施設利用権	1,499,166	資本剰余金	103,940,000
投資その他の資産	35,662,740	資本準備金	103,940,000
投資有価証券	1,745,302	利益剰余金	208,298,821
出資金	60,000	利益準備金	47,820,000
破産債権等	632,400	その他利益剰余金	160,478,821
長期前払費用	1,371,997	別途積立金	22,000,000
差入保証金・敷金	220,000	繰越利益剰余金	138,478,821
繰延税金資産	32,265,441	評価・換算差額等	686,190
個別評価貸倒引当金	△ 632,400	その他有価証券評価差額金	686,190
		純資産合計	612,925,011
資産合計	883,430,904	負債純資産合計	883,430,904

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、仕掛品、原材料、貯蔵品

移動平均法に基づく原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

② 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定)

イ 時価のないもの

移動平均法に基づく原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法

② 無形固定資産

定額法

ただし、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する部分を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社はプラスチックフィルム・チューブの製造・販売を行っております。これらの製品については、顧客が当該製品を検収した時点で履行義務が充足されると判断しており、通常は当該時点で収益を認識しておりますが、国内の販売において、出荷時から顧客が検収するまでの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 消費税等の会計処理は、税抜き方式によっております。

② グループ通算制度を適用しております。

2. 当期純損失金額

当期純損失金額 10,251,347 円